

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ABオービット見沼区東大宮4	階数	地上8F
建設地	さいたま市見沼区東大宮4丁目1番地	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	66 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年2月15日
敷地面積	515 m ²	作成者	株式会社松永建設
建築面積	394 m ²	確認日	2018年2月15日
延床面積	2,400 m ²	確認者	株式会社松永建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.2**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	駅のロータリーに面していることから人通り、車通りの多い立地に合わせ建物をなるべくセットバックして計画し圧迫感、ボリュームを抑えるようにした。整形形状で計画することで各部にかかる熱負荷等が均一になるようにした。賃貸住宅でも高級感のある建物となる様、内外装に落ち着き・素材感の有るものとした。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外壁・屋根に断熱を施し熱負荷の低減を図った。F★★★★製品の使用により有害物質発散の低減を図った。	住宅部分の階高を2.81mとし全体の高さを抑えつつも室内空間を十分な広さを確保した。	敷地の植栽条件に応じた緑地を設け視線を遮るような塀等を設けず防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の積極的採用による省エネルギー化を図った。開口部はバルコニー庇等により日射を制御し空調負荷の低減を図った。	躯体以外には、再生可能となる材料としてLGS下地を多く採用した。	建物の1階の一部を駐輪場として計画し周囲の交通負荷安全性に配慮した。(駐輪場については各住戸の住民用とする)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される